

平成19年度 虹ヶ丘こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	虹ヶ丘こども文化センターの管理運営に関すること 虹ヶ丘小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターにおいては、地域利用者や児童のニーズを把握するため、こども会議や運営協議会を定期的に行い、意見内容を随時検討している。わくわくプラザでは、保護者懇談会やこども会議を定期的を開催し、直接保護者の意見や利用児童の意見を聞きながら、改善すべき点を検討してきた。また、意見箱を設置した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	こども文化センターにおいては、常に子どもの目線に立って行事を企画し、誰もが気軽に、より多く参加する事ができるような日時を設定した。また、運営協議会を中心とした地域を巻き込んだセンターまつりを、安全に配慮しながら今年度も開催できた。わくわくプラザにおいても、幅広い学年の児童が参加できるような行事を工夫し、さらにこども会議での意見を反映させながら安全に実施する事ができた。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。今後は、クラブ活動の実施に努めること。

事業の実施に関する こと	健全育成事業として、子どもの自由なたまり場から、集団的な各種遊び(季節の工作や卓球大会、春のセンターまつり等)を地域ボランティアや運営協議会の協力により実施することができた。また、子育て支援として、幼児向けの読み聞かせ「わんぱく広場」を自主事業として行い、キッズルームの有効活用とPRも行った。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用に努めること。
個人情報取扱に関する こと	財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき取り扱った。こども文化センターの入館状況調査票、団体利用申請書、印刷機利用報告書やアスкул申込書、子育て支援・わくわくプラザ申込書などは確実にファイルに閉じ、鍵のかかる棚で保管をしている。事務用パソコンに関しては、職員のみ理解しているパスワードをかけ、外部の人には開けられないようにしている。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	日常的な施設内外の点検に加え、備え付けの遊具の点検を職員で随時行い、破損や故障した箇所は早急に対処を行った。さらに、施設内のペンキ塗りをするなど、館内の美化活動も積極的に行った。また、わくわくプラザにおいても外遊びをする際、職員で学校施設の点検を随時行った。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 19,847人 延べ団体利用数 1,426団体 (主な行事等) 工作 虹こ文 春のふれあい祭り (特色のある行事) レインボーコンサート	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 虹ヶ丘小学校わくわくプラザ 登録者数 107人 延べ利用者数 8,380人 (主な行事等) まじよまじよ(絵本読み聞かせ) ランチパーティ (特色のある行事) 虫採りをしよう	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>31,050,669</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>25,829,025</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,054,894</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,291,898</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>32,197,804</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>▲ 1,147,135</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	31,050,669	支出	人件費	25,829,025		管理費	2,054,894		事務経費	1,291,898		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	32,197,804		差引	▲ 1,147,135	<p>単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	31,050,669																														
支出	人件費	25,829,025																														
	管理費	2,054,894																														
	事務経費	1,291,898																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	32,197,804																														
	差引	▲ 1,147,135																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。